

「鎖国」下の四つの窓口

今日の問い

「鎖国」の下で、日本はどこを窓口に外国や周りの地域と交わったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 長崎と対馬では、だれと交わったか。

長崎(オランダ・中国)、対馬(朝鮮)

幕府が直接治めた ¹ 長崎 ではオランダ・中国と貿易し、オランダ商館長は海外のできごとをまとめた ² オランダ風説書 を幕府に出した。 ³ 対馬藩 の宗氏の仲立ちで朝鮮との国交が回復し、将軍の代がわりなどには ⁴ 朝鮮通信使 が江戸を訪れた。

2 薩摩と松前では、だれと交わったか。

薩摩(琉球)、松前(アイヌの人々)

⁵ 薩摩藩 は1609年に ⁶ 琉球王国 を支配下に置き、琉球は将軍の代がわりなどに ⁷ 琉球使節 を江戸に送った。蝦夷地では ⁸ 松前藩 がアイヌの人々との交易を独占し、1669年、不利な交易に対して ⁹ シャクシャインの戦い が起こった。

年表 — この単元のできごと

1609

薩摩藩が琉球王国を支配下に置く

1669

シャクシャインの戦いが起こる

まとめ

今日の問いに答えよう。「朝鮮通信使」「琉球王国」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)幕府が治める長崎ではオランダ・中国と貿易し、対馬藩を通じて朝鮮と交わって朝鮮通信使を迎えた。薩摩藩は琉球王国を支配し、松前藩は蝦夷地のアイヌの人々と交易した。

